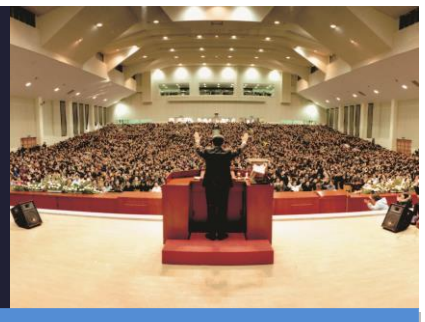
第 2018-34 号

恵みと真理のニュース



2018 年 8 月の四次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養路 193 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

[証]

主だけわたしの真の喜び、希望、愛です

わたしが生まれた田舎の村の人々のほとんどが親戚である集成村でした。それで、ある家に何か問題が出来たらすべての村の人々が自分の事のように処理しました。1年一回は必ず村の人々が集まって山に登って祭祀をしました。そして、葬式があると村の人々が葬地まで柩の輿を運んで、後をつけながら、なき声が村いっぱいに鳴り響きました。わたしは若かったものの、葬式を出すその姿を見ながら、人が死んだらどうなるか死んだ後はどこに行くのか。と一人で考えたりしました。
そうするうちにある日、トイレにいる時に、“ある執事がスピーカーをつけた自転車を乗って“イエス様を信じなさい！と数回も大きい声で叫んだ後、続けてスピーカーでながれる賛美が聞こえました。“わたしの魂が恵を受けて罪が赦され悲しみ多くこの世も天国です。”おかしいですが、この賛美歌と歌詞が歌詞と曲調がわたしの心を響きました。
その時からわたしは、教会に通い始めました。わたしの村には教会がなくて山を越えて大きい村である教会に通いました。牧師の説教を聴きながら人々はすべて罪人で生まれ滅亡を受ける存在ですが、救い主であるイエスキリストを信じると救いを得て永遠な命を得たのを知りました。神様の愛とイエスキリストの恵を悟って死も恐れなくなりました。したがって熱心に神様を信じる生活をしました。
そうするうちに通っていた教会に問題が出来て聖徒の仲で組が分かれるすったもんだが起こった。さまざまな教会に行っても気に入る教会を探せなくて結局、信仰生活をやめました。その後、結婚しました。このまま地獄に行くかわからないと思うと怖くて恐れましたが、二人の子供を育ちながら教会に行くのを後回しました。誰かがわたしを伝道して一緒に教会に行って、彼らから教会生活の助けを受けたかったです。そんな心で切ない時、恵と真理教会を仕える区域長と執事の二人がわたしの家に来て伝道するため来られました。彼らの導きと助けを受けて恵と真理教会の礼拝に参席しました。教会の外で見るときは大きい教会と聖徒の数が多くてうるさくて慌しいと思いました。しかし、聖殿に入って礼拝に参席してみたら聖徒がとても多いのに静かで秩序があって静かで聖なる礼拝で驚きました。
そして、礼拝するすべての聖徒達の顔には喜びが充満になってよく見えました。わたしもこの教会に通いながらこの聖徒らくし喜び溢れた教会の生活するだろうと期待感を持って礼拝を捧げました。そして、初めて聞いた当会長の牧師の説教の御言葉はわたしに取ってそんな確信を持たせてくださいました。 “しかし、憐れみ豊かな神は、わたしたちをこの上なく愛してくださり、その愛によって、 罪のために死んでいたわたしたちをキリストと共に生かし、――あなたがたの救われたのは恵みによるのです―― 事実、あなたがたは、恵みにより、信仰によって救われました。このことは、自らの力によるのではなく、神の賜物です。 行いによるのではありません。それは、だれも誇ることがないためなのです。（エペソの信徒への手紙２：４～５，８～９）
あなたがた自身も生きた石として用いられ、霊的な家に造り上げられるようにしなさい。そして聖なる祭司となって神に喜ばれる霊的ないけにえを、イエス・キリストを通して献げなさい。（ペテロ一手紙一2章5節）
その日の後から教会に行く日を待ち望みました。礼拝が楽しくて、御言葉を呼んで聞くのが楽しくて、区域長を始め聖徒達と共に祈って交際する時間がこの世の中でどんな時間より楽しくて幸せな時間になりました。仕方がって礼拝して教会を仕える事がわたしの人生の目標となりました。
大きい子が10歳、二番目の子が5歳の時、経済的な理由などで職場生活をはじめました。職場生活をしても続けて教会に良く通って誰よりも熱心に神様を畏れ聖徒のため奉仕して伝道する生活をすると思いましたが、出来ませんでした。いつも考えはありましたが残業と特別勤務で疲れた体でかろうじて主日礼拝だけ参席する信仰生活をしました。そうしながら弱くて足りなくて良く倒れたりしました。しかし、神様の愛は相変わらず倒れた私を立たせて強く支えてくださいました。私を向かう神様の愛は終わりがなかったです。職場の事で2009年8月ここアンサンで引っ越しました。どんな縁故がないですが、ここでも恵と真理教会の聖殿があって当会長の牧師の説教を続けて聴くことが出来て心が平安になりました。新しい家を探す時、教会に来る車の便か便利なところを一番の条件で二番目は商権が大きくて広い所を求めて祈りました。求めたとおり、教会の前で通るバースが一番多くてまた、商店町ですべての物をすぐ買える所の家で引越しすることが出来ました。わたしの祈りを聞いてくださり摂理してくださった神様の恵みに感謝しました。
以前から実家の家族の救いのため祈りました。私が父に“イエス様を信じて天国に行かなければなりません。”言うと父は“イエスを必ず信じるべきならもっと年取ってから信じればいい。今は仕事が先で私が働かないとどう生活するのか 。”今はあなただけよく信じてね。と言った父が主を受け入れて天国に召されました。わたしの祈りがむなしくなかったです。神様が父に救いを与えてくださいました。教会で葬式礼拝を捧げて牧師士と伝道士と長老と聖徒が見せてくださった大きい愛と苦労で多くの家族が感動を受けました。そして、家族の中で何人が決心して、これからすべての祭祀をしない代わりに追慕礼拝をささげるようになりました。
若い時には職場の生活で主を仕えるのに疎かになりました。それがいつも心にかけて主に申し訳なかったです。そして、熱心に教会で奉仕して伝道する方々に合わす顔がなかったです。それで、今も遅いですがもっと早く感謝する心で区域長の職分を負かされてこれからは熱心に仕え奉仕する生活をしています。そうしながら私は信仰生活にもっと活力が出来て、心も若くなり愛し、献身する心霊なやりがいも感じるようになりました。
神様は今までいつも私と共におられて私を保護してくださいました。その広さと深さ、大きさは測定できない神様の父なる限りない恵と愛に感謝します。主がこの地で与えて愛、成し遂げた愛、治療した愛、救いの愛を考えてわたしの人生も主を似てほしいです。区域長の役割と使命をよく担えるように祈りと御言葉で武装して区域聖徒を愛し仕えて、不信者達に福音を伝える楽しさを味わうようにしてくださる神様の恵みに感謝します。

[信仰コラム]　健康と治癒のためこのように話しましょう

”愛する 者よ.　あなたのたましいがいつも 恵まれていると同じく,　あなたがすべてのことに 恵まれ,　またすこやかであるようにと,　わたしは 祈っている。”（ヨハネの第三の手紙２節）

神様が神様の形像と姿通りに人をお造りなさい、人にも話す技能を与えられ、その言葉に権能が従うようになさいました。人の言葉は新たな現実を作り出して状況を変化させる力があります。従って、聖書の様々な所で話すことに対する注意点と重要性を力説しています。神様の恵みを被る言葉、神様の権能が表わすようにする言葉をする方法を教えています。
第一は、イエス様に対して自分が持った信仰を声を出して話すべきです。
イエス様がカイザリヤ・ピリポ地方で弟子達に”あなたがたはわたしをだれと 言うか？”と尋ねた時、ペテロが”あなたこそ,　生ける 神の 子 キリスト です 。”と答えました。ペテロがイエス様に対する自分の信仰を声を出して話すとイエス様がゆすり入れ、溢れる福の御言葉を加えられました。イエス様に対して皆さんが持った信仰を声を出して話してください。
第二は、信仰で命令しなければなりません。
イエス様が”神を 信じなさい。よく 聞いておくがよい.　だれでもこの 山に,　動き 出して,　海の 中にはいれと 言い,その 言ったことは 必ず 成ると,　心に 疑わないで 信じるなら,　そのとおりに 成るであろう。”と言われました。信仰で命令すると大きい問題も除去され、揺れない問題も移られる奇跡が従うという御言葉です。皆さんは、神様の約束とイエスキリストの贖いの恵みに頼って命令してください。
第三は、信仰と望みの言葉をすることが習慣になるように練習すべきです。
ダビデは神様に頼って信仰と望みの言葉をした結果で災いを転じて福と成すの恵みを数多く体験しました。使徒パウロは艱難に遭う時”忍耐は 錬達を 生み 出し,　錬達は 希望を 生み 出すことを,　知っているからである. そして,　希望は 失望に 終ることはない.　なぜなら,　わたしたちに 賜わっている 聖霊によって,　神の 愛がわたしたちの 心に 注がれているからである。”と言いました。逆境の中にいる時には”神は,　神を 愛する 者たち,　すなわち,　ご 計畫に 従って 召された 者たちと 共に 働いて,　万事を 益となるようにして 下さることを,　わたしたちは 知っている.　”と話しました。見知らない地域で逼迫する人は多く、自分の不足を感じる時には”わたしを 强くして 下さるかたによって,　何事でもすることができる。”と話しました。彼がこのように信仰と望みの言葉をすることで全ての艱難を押し分けて、至る所に教会を立て、福音を広く述べ伝えることができました。
第四は、持続的で一貫した言葉をすべきです。
信仰の言葉を始めたら、その言葉が持続されるべきであり一貫されるべきです。自分が持った期待に外れる状況に処されても一様に信仰の言葉を話すべきです。イエス様は異邦女性のイエス様に対する一貫した態度と信仰の言葉を聞かれ、悪霊につかれた彼女の娘に治療の恵みを施されました。主の愛と能力を徹底に信じて一貫する信仰の言葉をする人は誰でも主の助けを受けることができます。
第五は、神様の御言葉に従って、無いのをあるように呼ばなければなりません。
神様がアブラムをアブラハムに、サライはサラに名を変えてくださいました。アブラハムは列国の父になり、サラは列国の母にさせるという約束を付け加えられました。その日から二人はまだ子供がないのにも関わらず、アブラハム、サラと無いのをあるように呼びました。聖徒達も神様の約束の御言葉に基づいて無いのをあるように呼ばなければなりません。
第六、神様に向いて感謝の言葉だけしなければなりません。
不評と恨みの言葉をする習慣を必ず直すべきです。この世の人々は良い時には感謝するが、苦しくて退屈で難しい事がある時には不評するしかありません。しかし、聖徒達はいかに難しいことに遭ってもキリストイエスの中で見ると感謝できる条件を発見することができます。神様が言約なさった御言葉を通じて見ると感謝する理由をいくらでも探すことができます。感謝の言葉はストレスを解消させて免疫細胞を活性化させ、神癒の恵みが臨むようにさせます。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

もっと強い者によるの自由と繁栄

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

他の人の都合を見回す時、概ね経済状態と健康状態を調べます。これらの 2 つは生存と生活の質に直結するからです。しかし、それよりも優先的に視野が求められないことは、その人の心霊的な状態です。その人の心霊状態は、この世に住んでいる間だけでなく、死の後まで影響を及ぼします。今日の本文に記録されたイエスのお話には、3 種類の心霊状態が明らかにされています

第一は、強い者に占領さダンハヨいる心霊状態です。

「強い 人が 十分に 武装して 自分の 邸宅を 守っている 限り， その 持ち 物は 安全である」（ルカによる福音書 11:21）この言葉で強い者が占領して、自分の家としている心霊状態があることを知ることができます。ここで「強い者」とは、サタンを指しています。サタンは人よりも知恵と力が強いです。堕落したアダムの子孫は強い者サタンの影響の下にあります。エペソ 2 章 2 節に記録されることを**「かつては それらの 中で， この 世のならわしに 従い，**空中**の 權をもつ 君， すなわち， 不従順の 子らの 中に 今も 働いている 霊に 従って， 歩いていたのである」（エペソ人への手紙 2：2）**しました。強い者が自分の家を守るとしました。ここで、自分の家とは、サタンが占領している心霊を指します

第二には、しばらくの間、自由にされたが、もっと悪化した心霊的な状態です。

イエス言いうのを**「汚れた 霊が 人から 出ると， 休み 場を 求めて 水の 無い 所を 歩きまわるが， 見つからないので， 出てきた 元の 家に 歸ろうと 言って， 歸って 見ると， その 家はそうじがしてある 上， 飾りつけがしてあった．歸って 見ると， その 家はそうじがしてある 上， 飾りつけがしてあった．」（ルカによる福音書 11：24～26）**しました
未信者が伝道を受けて教会に通いながら賛美を歌って祈り、神の言葉を聞くと悪魔が苦痛を受けて、その人を離れてしまいます。ところが、その人が途中で信仰生活を中断してしまうと、その心霊は空き家の状態になります。本当の悔い改めがなかったので生まれ変わっ信者ではなかったことです。すると、その人から出た悪魔が悪霊七つを連れて入ってくるとその人の心霊的な状態が悪化してしまいました。イエスの弟子としてイエスを弟子たちに売り渡したイスカリオテのユダがそのような類の人だと呼ぶのできます

第三には、もっと強い者が来て、強い者を追放した心霊的な状態です。

「しかし，もっと 強い 者が 襲ってきて 彼に 打ち 勝てば，その 頼みにしていた 武具を 奪って，その 分捕品を 分けるのである」（ルカによる福音書 11:22）この言葉がこれを指します。「もっと強い者」はイエス・キリストです。
ヨハネの第一の手紙 4 章 4 節に「子たちよ．あなたがたは 神から 出た 者であって， 彼らにうち 勝ったのである． あなたがたのうちにいますのは， 世にある 者よりも 大いなる 者なのである」としました。人は、自分の力で強い者サタンを決して勝つことができません。しかし、イエス・キリストを受け入れた人は、もはやサタンを恐れることはありません。もっと強い者であるイエス・キリストが共にあって助けてからです。サタンの力に押された、人間が自分の力では心霊的な自由と安全を得ることができないが、もっと強い者であるイエスによって得ることができます
私たちには「強い者を追放したもっと強い者」を思い出させる日があります。8 月 15 日です。日帝治下で自由を失い、うめき泣き声の民が自由を得た日だからです。強い力を持つ日本を倒す力がない私たちが自由を得たのは、もっと強い力を持つ米国によったものです。今年 8 月 15 日は日帝治下から解放された日から 73 周年となり、大韓民国の建国 70 周年になる年です。韓国の解放と建国に神の特別な摂理がありました。これは解放と建国の前後にあった出来事を聖書の観点から考察してみると、神の特別な摂理を納得していないことができません
神はなされる事のために特別に選択して、管理対象があります。アブラハムとその子孫とイスラエルの国について記録された聖書を見れば、これをよく知ることができます。神はアブラハムの子孫を通じてメシアをお送りのを定めました。モーセと預言者たちを通して律法と預言を与えます。イスラエルはまことの神と救いの知らせを全世界に広めることが使命を持つようになりました。しかし、イスラエルは誤った選民意識を持った律法と預言を歪曲されて理解しました。それにより、神の罰を受けて、多くの苦難を経験しました
しかし、神が言約された通り、メシアがダビデの子孫で来られ、あがないの死を死なれて復活され天に昇りました。昇天したイエスが聖霊を送られて、教会が誕生しました。イエスの弟子たちが熱烈に福音を伝え始めたし、今日に至ってきた世界に教会が設立されました。ローマ帝国をはじめとヨーロッパに福音の波が覆いがされており、クリスチャンが新大陸アメリカに移住し、アメリカという巨大な国ができました。英国と米国は、ミッションの中心国家としての使命を担当しました。ところが 1922 年にソ連が、1949 年には、中国が共産化され、その影響力が広大な地域に広がっていきました。共産国家は信仰の自由を奪われている大聖堂を破壊し、クリスチャンに無慈悲な迫害をしました
神は最終の時に福音を広めする役割を担う国としてある国を起こし立てられました。その国が大韓民国です。韓国の教会の急速な復興がこのような主張を証明しています。1 千万人を超える国民がクリスチャンになりました。米国の次に多くの宣教師を派遣しています。世界の至るどこでも韓国人がいるところには教会があります。神は韓国教会が宣教師の使命を実行するために、李承晩大統領を通じて自由民主主義の国家を立てたし、韓米同盟を通じて安全保障と経済成長に多大な恩恵を与えていました。
サタンは、このような神の計画がなされないようにしようとソ連と中共の支援の下、北朝鮮が 6.25 南侵を敢行するように衝動ました。これらの悪魔の策略は成功しなかった。一方、6.25 戦争は韓国教会の社会的役割を増大させ、教会の拡大と復興をもたらしました。クリスチャンは、解放と大韓民国の建国と朝鮮戦争に関連して、神がどのように助けにくく摂理れましたが、よく知っている。そうしなければ、神の意志に合致する使命感とビジョンを持って教会と国のために献身することになるでしょう。クリスチャンは、神の側に立って眺める歴史観、国家観が必要です
韓国は日本の治下で 35 年という長い歳月の間、国権の国土が蹂躙されて搾取した。人々は自由を剥奪され、あらゆる圧力と屈辱を耐えなければならなかった。独立闘士の先烈たちの命を捧げながら労力だけ国権を回復する見込みがありませんでした。ところが、驚くべきことに、予期せぬ解放が突然近づいてきました。1945 年 8 月 15 日、日本が米国に降伏しました。米国によって得られた解放であり、自由です。米国が日本より力が強かったからです。73 年前、韓国の解放は、このように奇跡的に近づいてきました。これは、神の摂理と助けにされたものです。統一も神の摂理と助けに奇跡のように行われることを願います
現在、韓国では驚異的な危機に瀕しています。多くの核兵器と生物化学兵器を保有している北朝鮮当局が、韓国と米国だけでなく世界の平和を脅かしています。北朝鮮は核兵器を持ったので、軍事力においては韓国よりもっと強いです。核兵器の前では在来式武器はなんにもないです。北朝鮮が核兵器を廃棄しない限り、北朝鮮との平和議論とは何の意味がありません。核兵器が韓国にない状況で、平和交渉と北朝鮮に屈従し、支配される道を選ぶ手段にすぎません。核兵器は核兵器のみ対応策になります。韓国が核兵器を保有することができない場合は、同盟国の核武力に依存する道しかありません。核攻撃能力において、北朝鮮は米国に比較できないです。韓国としては世界最強の武力を持った米国に依存して助けを受けなければなりません、北朝鮮よりもっと強い者になることができます
「主なる神、悪と不義と欺瞞に罪のない者を害し食べ者の図ると策略は無駄になって、彼ら板トラップとわなに自分たちが陥ってかかるようにしてください。」「地を 造られた 主， それを 形造って 堅く 立たせられた 主， その 名を 主と 名のっておられる 者がこう 仰せられる， わたしに 呼び 求めよ， そうすれば， わたしはあなたに 答える． そしてあなたの 知らない 大きな 隠されている 事を， あなたに 示す」（ エレミヤ書 33：2,3）この言葉が、北朝鮮の自由化と福音化を求めている私たちに現実になることを信じています。私たちの解放と建国そして朝鮮戦争での勝利を与えられた神は、どんな強い者よりも強い者でおられます。そして、私たちを罪から救われた神は、サタンよりもっと強い者でおられます

韓国のすべての教会と聖徒たち、そして国民が、どんな存在よりももっと強い神様を堅く頼るので、霊肉ともに自由と繁栄を享受するのを願います。